

事業シート(令和8年度予算)

事業名	91200 外国青年(外国語指導助手)招致事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	教育基本振興計画、過疎地域持続的発展計画		
	款	9	教育費		ポイント										
	項	1	教育総務費		政策分野	2	こども・教育・交流								
	目	2	事務局費		施策分野	(2)	学校教育								
担当課	教育委員会事務局	学校教育課	内線	2358							市長公約				

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒が生きた英語に接し、コミュニケーションする機会を得る中で、英語を中心とする異文化理解の資質を養うとともに、郷土を愛し郷土の文化を尊重する態度を育てる。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国語指導助手(ALT)を招致し、小中学校における次のような英語指導等を進める。</li> <li>小学校の英語活動の時間に、担任とともに簡単なコミュニケーション活動を行う。</li> <li>中学校の英語の時間に英語教師とともに英語指導をする。</li> <li>イングリッシュシャワーや英語スピーチコンテストなどに参加する児童生徒の支援をする。</li> </ul>
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R6			R7		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		15,408	12,147	14,944			
特定財源	国費( )						
	県費( )						
	その他( 外国青年招致事業雑入 )	1,320	1,326	1,200			
一般財源		14,088	10,821	13,744			
新規・拡充	主な事業内容						
	外国青年(外国語指導助手)の招致	15,408	12,147	14,944			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和8年度予算編成(Action) (千円)

R8予算		実施計画額		15,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
15,533	15,475	15,475	531	
1,320	1,320	1,320	120	
14,213	14,155	14,155	411	
査定額	説明			
15,475				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国語指導助手(ALT)を中学校への1学級あたりの訪問時間数は週1~2時間実施</li> <li>外国語指導助手(ALT)を小学校への1学級(3年生以上)あたりの訪問時間数は週1~2時間実施</li> <li>消防署で行われる外国人を対象とした災害や病気を想定した訓練(1月)にALT5名が参加</li> <li>市図書館で行われる子どもたちを対象にした読み聞かせに月1回ALT2~3名が参加</li> <li>中学生を対象としたイングリッシュシャワーを夏休みに実施。16名が参加</li> <li>小学生を対象としたイングリッシュシャワーを10月と12月に実施。40名が参加</li> <li>希望する学校にALTを複数名派遣し、イングリッシュデイを実施。3校が参加</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校規模等の差による1学級あたりの訪問時間数に多少の差はあるが、平均化するように努めた。</li> <li>小学校および中学校で効果的なチームティーチングができるよう、ALTを対象とした授業力向上研修を実施した。</li> <li>スピーチコンテストに参加する生徒の指導をすることができた。</li> <li>コロナ禍前に実施していたイングリッシュデイを再開し、英語や異文化に触れる機会を増やした。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ALTの効果的な活用について担当者から各学校に提案する。</li> <li>イングリッシュシャワーへの参加児童生徒数が増えるよう、ALTが一層宣伝に力を入れたり、参加対象学年の枠を広げたりする。</li> <li>イングリッシュデイについて校長研修会等を通して担当者から各校に願いを伝え、参加希望校を増やす。</li> </ul>

5.令和7年度事業実績、評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 維持・改善</li> <li><input type="checkbox"/> 拡大</li> <li><input type="checkbox"/> 縮小</li> <li><input type="checkbox"/> 廃止検討</li> <li><input type="checkbox"/> R6完了</li> <li><input type="checkbox"/> R7完了予定</li> </ul>

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国語指導助手(ALT)による教育に必要な経費を計上</li> </ul>
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>積算内容を精査</li> </ul>
市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>財務部査定のとおり</li> </ul>

事業シート(令和8年度予算)

事業名	91210 教育委員会事務局運営事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	教育基本振興計画、過疎地域持続的発展計画		
	款	9	教育費		ポイント										
	項	1	教育総務費		政策分野	2	こども・教育・交流								
	目	2	事務局費		施策分野	(2)	学校教育								
担当課	教育委員会事務局	学校教育課	内線	2358				市長公約							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の健康維持、病気の早期発見(学校保健安全法に基づく)</li> <li>・日本スポーツ振興センター共済への加入促進により、学校管理下における児童生徒の災害発生時の保護者経費負担の軽減を図る。</li> <li>・教職員や学校医等の活動支援により、児童生徒の健全な育成を図る。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県費教職員及び保健相談員を対象とした胸部レントゲン検査及び県費教職員を対象とした年代別健康診断を行う。</li> <li>・保護者の日本スポーツ振興センター共済掛金の一部を負担する。</li> <li>・教職員や学校医で組織される各種団体の上部団体からの分担金の負担および団体への助成を行う。</li> </ul>
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標

2.事業の実施結果等(Do)

		R6			R7		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		14,473	13,710	14,346			
特定財源	国費( )						
	県費( )						
	その他(日本スポーツ振興センター)	2,757	2,750	2,653			
一般財源		11,716	10,960	11,693			
新規・拡充	主な事業内容						
	日本スポーツ振興センター負担金	5,900	5,784	5,700			
	教職員健康診断	2,600	2,350	3,200			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和8年度予算編成(Action) (千円)

R8予算		実施計画額		14,400
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
14,141	14,125	14,125	△ 221	
2,561	2,561	2,561	△ 92	
11,580	11,564	11,564	△ 129	
査定額	説明			
5,500				
3,200				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和6年度事業実績・評価等(Check) R7.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年代別健康診断 210人</li> <li>・胸部レントゲン検査 563人</li> <li>・共済掛金の一部負担金 6,253人</li> <li>・各種団体への負担金、補助金の支出 負担金 13団体、補助金 1団体</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の健康推進のため、継続して事業を実施することができた。</li> <li>・学校管理下における児童生徒の災害補償をすることにより、保護者負担の軽減を図ることができた。</li> <li>・校長会等への負担により、各機関、団体と連携を密にした事業をより効率的に実施することができた。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レントゲン検査等は、教職員の健康推進のため、継続して事業を実施する。</li> <li>・日本スポーツ振興センターの加入で学校管理下における児童生徒の災害補償がなされるため、継続して保護者負担の軽減を図る。</li> <li>・各種団体への負担を行うことにより、各機関、団体と連携を密にした事業をより効率的に実施する。</li> </ul>

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R6完了
- R7完了予定

5.令和7年度事業実績・評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R7完了
- R8完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の健康診断に必要な経費を計上</li> <li>・各種団体活動等への支援に必要な経費を計上</li> </ul>
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和8年度予算)

事業名	91240 教育研究所運営事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	1	子どもが健やかに育つための支援、若者が活躍できる環境づくり	根拠計画	教育基本振興計画、過疎地域持続的発展計画		
	款	9	教育費		ポイント	(1)	健やかに育つ環境づくり									
	項	1	教育総務費		政策分野	2	こども・教育・交流									
	目	2	事務局費		施策分野	(2)	学校教育									
担当課	教育委員会事務局	学校教育課	内線	2358				市長公約								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育研究所(研究・研修センター・相談・資料センター)を中心に教職員や児童生徒等の支援の充実</li> <li>であい塾、学びの多様化教室「にじ色」の運営や相談体制の充実などによる不登校児童生徒の学級復帰への支援</li> <li>幼保小連携協議会を中心とした活動による幼稚園や保育園から小学校への円滑な就学の援助</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導力向上に資する教員研修を行う。</li> <li>指導主事が学校訪問し教職員の指導を行う。</li> <li>であい塾(不登校児童生徒適応指導教室)、学びの多様化教室「にじ色」の管理、運営を行う。</li> <li>幼保小連携のための朝のスタートプランなどによる生活習慣形成の支援を行う。</li> </ul>
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標
緊急サポートスタッフの派遣	0		

2.事業の実施結果等(Do)

		R6			R7		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		18,623	16,635	13,663			
特定財源	国費 (情報機器整備事業費 1/3)	1,122	3,278	1,122			
	県費 (道徳教育地域支援事業費 10/10)						
	その他(夢・まちづくり基金繰入金、雑入、弁償金、敷地占有料)	400	787	500			
一般財源		17,101	12,570	12,041			
新規・拡充	主な事業内容						
	であい塾児童生徒送迎、不登校児童生徒教育相談等	1,625	1,846	1,620			
	大学連携による研修等	50	38	50			
	タブレット端末の導入、貸出ルーター用通信使用料等	265	0	260			
	いじめ防止アドバイザー派遣	1,400	1,171	1,400			
	教育支援センター(学びの多様化教室「にじ色」の運営にかかるものを含む)関係	7,298	4,823	2,020			
	ICT機器運用支援ヘルプデスクの導入・運用	3,370	3,366	3,370			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和8年度予算編成(Action)

		R8予算		実施計画額		10,000	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)				
11,413	10,260	10,260	△ 3,403				
			△ 1,122				
	250	250	250				
			△ 500				
11,413	10,010	10,010	△ 2,031				
査定額	説明						
1,840							
50							
1,400							
2,120							

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和6年度事業実績・評価等(Check) R7.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>教員の研修等の実施 38回 延べ参加人数2565人</li> <li>学校への出前講座の実施</li> <li>大学連携による研修の実施(日枝中、北小、丹生川中)</li> <li>校内研究支援と指導助言の実施</li> <li>相談体制の整備(年間491件対応)</li> <li>いじめ防止アドバイザーの各学校への派遣(延べ84回)</li> <li>支所域での移動であい塾の開設(清見、国府、丹生川)</li> <li>学びの多様化教室「にじ色」の開室</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>管理職対象の校長研、教頭研やミドルリーダーの育成のための教務主任研、研修主事研、初任者対象の初任者研修等年齢や立場に応じた研修の充実を図ることができた。</li> <li>不登校相談ダイヤルでは「にじ色」の入室相談や見学相談、学校での支援に対する相談等が寄せられ、であい塾や「にじ色」の入室につなげることができた。</li> <li>モバイルルーターの貸出によって災害や感染症等による休校時などにおける家庭でのオンライン学習を進めることができた。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>教員研修については、対面研修とオンライン研修両方の充実を図り、多様な立場や年齢層のニーズにあった研修を行う。</li> <li>いじめ、不登校の相談体制とその対応については、多様な居場所づくりと未然防止の両面を充実させる必要がある。</li> <li>ヘルプデスクの運用は今後もタブレットやシステムの更新があるため継続する必要がある。</li> </ul>

5.令和7年度事業実績・評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育支援センターや学びの多様化教室「にじ色」の運営に必要な経費を計上</li> <li>であい塾児童生徒送迎や教育相談等、不登校対策に必要な経費を計上</li> </ul>
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和8年度予算)

事業名	91250 特別支援教育推進事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	1	子どもが健やかに育つための支援、若者が活躍できる環境づくり	根拠計画	教育基本振興計画、過疎地域持続的発展計画		
	款	9	教育費		ポイント	(1)	健やかに育つ環境づくり									
	項	1	教育総務費		政策分野	2	子ども・教育・交流									
	目	2	事務局費		施策分野	(2)	学校教育									
担当課	教育委員会事務局	学校教育課	内線	2358				市長公約								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学びにくさ、生活のしづらさなどの困り感を抱えた児童生徒の教育的ニーズに応じた適した指導・援助を行い、自立を支援する。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学相談会、特別支援教育講演会、教育支援委員会を開催する。</li> <li>・医療行為を必要とする障がい児等を訪問看護により支援する。</li> <li>・幼稚園・保育園と小学校、小学校と中学校、中学校と高等学校等、就学前から卒業までを見据えた切れ目ない支援を行う。</li> </ul>
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R6			R7		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		1,950	856	2,740			
特定財源	国費( )						
	県費( )						
	その他( )						
一般財源		1,950	856	2,740			
新規・拡充	主な事業内容						
	障がい児等に対する地域と一体化した教育支援	230	163	270			
	医療行為を必要とする児童生徒の学校活動に対する支援	1,720	693	1,720			
	心のスクール検討委員会の運営			750			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和8年度予算編成(Action)

R8予算		実施計画額		2,800
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
5,032	4,180	4,180	1,440	
5,032	4,180	4,180	1,440	
査定額	説明			
310				
2,120				
1,750				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和6年度事業実績・評価等(Check) R7.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学相談会の実施(5月下旬~6月上旬各小学校で実施) 1回</li> <li>・特別支援教育講演会の実施(参集型) 2回 約100人</li> <li>・教育支援委員会の開催 2回</li> <li>・訪問看護の実施 12回</li> <li>・幼保小連携協議会 2回(参集型)</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育だけでなく通常学級担任の理解を深めるのに適した講師を招き、特別支援教育コーディネーター、通級指導担当、希望する教諭まで参加範囲を広げ、講演会を開催することができた。</li> <li>・導尿ケアが必要な児童に対し、継続して対応ができた。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も教職員の資質向上のための研修を充実させていく。</li> <li>・医療的ケアについては、急な医療的ケアを必要とする子もいる。現在その分も考慮した予算確保をしているが、その維持は必須だと考える。</li> <li>・心のスクール検討委員会において、医療と連携した不登校児童生徒への支援体制の構築を図る。</li> </ul>

5.令和7年度事業実績・評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援が必要な児童生徒への支援に必要な経費を計上</li> <li>・心のスクール検討委員会の運営に必要な経費を計上</li> </ul>
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積算内容を精査</li> <li>・心のスクール検討委員会運営について、積算内容を精査</li> </ul>
市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財務部査定のとおり</li> </ul>

事業シート(令和8年度予算)

事業名	92200 小学校運営事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	1	こどもが健やかに育つための支援、若者が活躍できる環境づくり	根拠計画	教育基本振興計画、過疎地域持続的発展計画		
	款	9	教育費		ポイント	(2)	夢や希望が持てる環境づくり									
	項	2	小学校費		政策分野	2	こども・教育・交流									
	目	2	教育振興費		施策分野	(2)	学校教育									
担当課	教育委員会事務局	学校教育課	内線	2358				市長公約								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校運営に関する費用を負担することにより義務教育の充実を図る。</li> <li>全教育活動を通して児童の心身の健全育成を図る。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校運営に関する費用を負担する。</li> <li>新入学時に安全な通学のため安全帽子と防犯ブザーを配付する。</li> <li>あたたかな人間関係づくりのための心理検査を実施し学級経営を支援する。</li> <li>児童の健康診断を実施する。</li> </ul>
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う児童生徒の割合	90.5%		
教職員1人あたりの時間外勤務	30.3h		

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R6			R7		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		112,659	106,961	36,980			
特定財源	国費 ( 情報機器整備事業費 1/2、へき地児童援助費 1/3 )	263	507	263			
	県費 ( 学校基本調査事務費 10/10 )		7				
	その他( 福祉健康基金繰入金 )	700	300	680			
一般財源		111,696	106,147	36,037			
新規・拡充	主な事業内容						
	人間関係づくりのための心理検査の実施	2,650	1,886	2,520			
○ 1	校務支援システムの運用及び更新	4,390	4,389	4,390			
	小学校運営事業	30,119	27,558	30,070			
	教科書改訂に伴う指導書購入	75,500	73,128				
	スクールサポートスタッフ・学習指導員の配置						
	嘱託医報酬(内科医、歯科医、薬剤師)						
○ 2	日本語学習指導員の配置						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和8年度予算編成(Action)

R8予算		実施計画額		49,700
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
52,005	50,477	49,977	12,997	
	344	344	81	
		600	△ 80	
52,005	50,133	49,033	12,996	
査定額	説明			
2,500				
5,640				
28,967				
	- 人件費に計上			
12,870	92100 小学校管理事業費から移行			
	- 人件費に計上			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和6年度事業実績・評価等(Check) R7.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>あたたかな人間関係づくりのための心理検査の実施(小3~6年生) 2,619人</li> <li>児童健康診断 4,005人</li> <li>防犯ブザーの配付 585人</li> <li>校務支援システムの運用</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>小3~6年に対する心理検査を実施。各校で結果を分析し児童の変化に気づくことで、早めの対策を講じることができた。</li> <li>校務支援システムを活用することにより、出席簿、成績、出退勤把握の業務など、事務処理が統一化され、作業に係る負担を軽減し、学校職員の時間外勤務の減少にもつながっている。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>本事業費は、児童が充実した学校生活を送るための学校運営に必要な事務経費であり、今後も効率的な運営を行い、児童の心身の健全育成のため継続して事業を実施する。校務支援システムは学校職員の事務処理の統一化と業務の効率化を図ることができるため、今後も必要である。</li> <li>次期校務支援システムの契約に向けて、改善すべき点を明確にしながら県における共同調達に向けてすすめる。</li> </ul>

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R6完了
- R7完了予定

5.令和7年度事業実績・評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 維持・改善</li> <li><input type="checkbox"/> 拡大</li> <li><input type="checkbox"/> 縮小</li> <li><input type="checkbox"/> 廃止検討</li> <li><input type="checkbox"/> R7完了</li> <li><input type="checkbox"/> R8完了予定</li> </ul>

担当課	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校教育の運営に必要な経費を計上</li> <li>スクールサポートスタッフ・学習指導員の配置の拡充に必要な経費を計上(人件費に計上)</li> </ul>
-----	--

財務部査定の方	<ul style="list-style-type: none"> <li>精算内容を精査</li> <li>五色自然体験学習バス借上を環境政策課予算へ移行</li> </ul>
市長査定の方	<ul style="list-style-type: none"> <li>精算内容を精査</li> </ul>

## 主要事業個票(令和8年度予算)

事業名	92200 小学校運営事業費	区分	<input type="checkbox"/> R7新規	<input type="checkbox"/> R8新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	学校教育課
			<input checked="" type="checkbox"/> R7拡充	<input type="checkbox"/> R8拡充		款	9	教育費		
枝番・内容	1 校務支援システムの更新	<input type="checkbox"/> その他重要事業	<input type="checkbox"/>	項		2	小学校費	内線	2358	
		<input type="checkbox"/>		目		2	教育振興費	作成年月	R8.2	

## 事業の目的・概要(Plan)

目的	令和2年度に導入した県下統一の統合型校務支援システムについて、次期システムへ更新する。	概要	県が中心となりR8年度中に次期校務支援システムへ更新する。
----	---	----	-------------------------------

## 【参考】R6決算(Do・Check) R7.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

## 【参考】R7当初予算(Action) R7.3時点 (千円)

予算額	当初	
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

## R7決算(Do・Check) R8.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

## R8当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	1,160
主な経費		
	委託料	
対前年度増減額(当初予算)		1,160

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
[スケジュール]	

事業実績、評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R7完了 <input type="checkbox"/> R8完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現行システムからのデータ抽出を行うとともに、新規システムを構築し、移行・設定等の業務を行う</li> </ul>
[スケジュール]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R8.4～ データ抽出、初期構築</li> <li>・R8.8 データ移行、初期構築完了</li> <li>・R8.9 次期システム運用開始</li> </ul>

主要事業個票(令和8年度予算)

事業名	92200 小学校運営事業費	区分	<input type="checkbox"/> R7新規	<input checked="" type="checkbox"/> R8新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	学校教育課
枝番・内容	2 日本語学習指導員の配置		<input type="checkbox"/> R7拡充	<input type="checkbox"/> R8拡充		款	9	教育費		
			<input type="checkbox"/> その他重要事業		項	2	小学校費	内線	2358	
			<input type="checkbox"/>		目	2	教育振興費	作成年月	R8.2	

事業の目的・概要(Plan)

目的	・日本語指導が必要な児童生徒が、日本の学校生活に必要な日本語や知識を身に付けることができるように学習指導員を配置し、日本語を学習する機会を確保するとともに、支援体制を強化する。	概要	・外国とつながる児童生徒に対して、日本語を支援する学習指導員を配置する。
----	--	----	--------------------------------------

[参考] R6決算(Do・Check) R7.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

[参考] R7当初予算(Action) R7.3時点 (千円)

予算額	当初	
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R7決算(Do・Check) R8.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

R8当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	
主な経費	・学習指導員の人件費	
対前年度増減額(当初予算)		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定

事業内容、スケジュール	

事業実績、評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R7完了 <input type="checkbox"/> R8完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] ・日本語指導が必要な児童生徒に対して、日本語の支援を行う学習指導員を配置する。 ・日本語指導が必要な児童生徒が在籍する学校を拠点校とし、在籍学級からの取り出し指導、在籍学級への入り込み指導等を行う。また、拠点校での支援に加えて、他校に在籍する児童生徒への支援を行う。(他校から拠点校への通学、他校への巡回指導)	
[スケジュール] R8.4～西小に配置	

事業シート(令和8年度予算)

事業名	92210 小学校心の教育推進事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	1	子どもが健やかに育つための支援、若者が活躍できる環境づくり	根拠計画	教育基本振興計画、過疎地域持続的発展計画		
	款	9	教育費		ポイント	(1)	健やかに育つ環境づくり									
	項	2	小学校費		政策分野	2	子ども・教育・交流									
	目	2	教育振興費		施策分野	(2)	学校教育									
担当課	教育委員会事務局	学校教育課	内線	2358				市長公約								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>個々の内面に寄り添い支援しながら、一人ひとりが持つ良さや可能性が十分発揮できるようにする。</li> <li>児童の学校生活への不適応やいじめ、不登校問題などの未然防止を図る。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健相談員、特別支援員を配置し、児童の学校生活の支援を行う。</li> <li>スクールカウンセラー(臨床心理士)を派遣し、心のケアを行う。</li> </ul>
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R6			R7		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		2,050	2,045	2,550			
特定財源	国費( )						
	県費( )						
	その他( )						
一般財源		2,050	2,045	2,550			
新規・拡充	主な事業内容						
	スクールカウンセラーの派遣	2,000	1,995	2,500			
	保健相談員・特別支援員の配置						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和8年度予算編成(Action)

R8予算		実施計画額		2,600
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
2,550	2,550	2,550	0	
2,550	2,550	2,550	0	
査定額	説明			
2,500				
	- 人件費に計上			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和6年度事業実績・評価等(Check) R7.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>臨床心理士によるカウンセリング時間 399時間</li> <li>保健相談員(小学校) 50人 配置</li> <li>特別支援員(小学校) 54人 配置</li> <li>全校に校内支援センターを設置</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>スクールカウンセラーの派遣により、悩みを抱える保護者や児童に寄り添う支援ができた。</li> <li>スクールカウンセラーと教職員との連携体制を整え、発達支持的支援として、授業を行ったり、学習や集団生活に困り感をかかえる児童にカウンセリングをしたり、集団や個に適した支援を行うことができた。</li> <li>特別支援学級の減少のため、特別支援員は減少したが、不登校児童への対応や配慮が必要な児童に支援する保健相談員を増加させ、支援を継続することができた。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>異学年にまたがる特別支援学級7~8人の学級では支援員を配置する。</li> <li>発達障がいや不登校傾向の生徒への対応、日本語が困難な生徒への対応など、手厚い支援ができるよう継続して一人ひとりに寄り添う事業を実施する。</li> <li>相談員の資質・能力の向上や不登校対策(校内支援センターの活用)における教育相談の充実を図る。</li> <li>相談員の配置数に応じた、適正な勤務管理、勤務態度、支援等を指導する。</li> </ul>

5.令和7年度事業実績・評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校における心のケアに必要な経費を計上(保健相談員、特別支援員の配置に必要な経費は人件費に計上)</li> </ul>
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和8年度予算)

事業名	92220 小学校教育機器整備事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	1	子どもが健やかに育つための支援、若者が活躍できる環境づくり	根拠計画	教育基本振興計画、過疎地域持続的発展計画	
	款	9	教育費		ポイント	(2)	夢や希望が持てる環境づくり								
	項	2	小学校費		政策分野	2	子ども・教育・交流								
	目	2	教育振興費		施策分野	(2)	学校教育								
担当課	教育委員会事務局	学校教育課	内線	2358					分野別				市長公約	やさしく！～周りを敬うやさしさ～ 子どもたちが充実した将来を迎えることができるための教育環境を整えます	

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童の学習意欲の向上と学力の定着を図る。</li> <li>情報教育により情報化社会に対応した情報通信機器を活用できる力の習得や規範意識の向上を図る。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報通信関連機器などの教具・教材を整備する。</li> <li>学校内で使用する教材備品の購入</li> </ul>
----	---	----	---

総合計画等 主な指標				R6実績	R7実績	R11目標
「国語の授業の内容はよく分かりますか」で分かると回答した児童生徒の割合				91.8%		

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R6			R7		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		214,981	207,697	197,710			
特定財源	国費( )						
	県費( )						
	その他( 飛騨高山ふるさと基金繰入金、夢・まちづくり基金繰入金 )	85,000	90,000	43,000			
一般財源		129,981	117,697	154,710			
新規・拡充	主な事業内容						
	小学校教育機器整備事業費	63,271	59,580	67,020			
	教育系情報ネットワークのセキュリティ強化	17,300	17,300	23,300			
	電子黒板の配置	38,440	37,782	26,110			
	教材費	27,100	26,882	18,000			
	1人1台タブレットの活用、貸出用ルーター通信使用料等	68,870	66,153	63,280			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和8年度予算編成(Action)

R8予算		実施計画額		271,100
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
221,772	214,660	214,660	16,950	
		75,160	32,160	
221,772	214,660	139,500	△ 15,210	
査定額	説明			
75,400				
23,830				
8,850				
17,500				
89,080				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>GIGAスクール構想により整備・導入した校内LAN、電源キャビネット、1人1台端末の運用</li> <li>GIGAスクール構想によるモバイルルータの運用 全300台</li> <li>普通教室・少人数教室・理科室への電子黒板を用いた教師用デジタル教科書の運用</li> <li>タッチパネルディスプレイの導入(19台)</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>1人1台端末を利用して様々な教育活動に工夫して取り組むことができた。</li> <li>抽出校にてネットワークアセスメントを実施し、改善策の検討を進めた。</li> <li>不登校の児童に対してモバイルルータの貸出を実施し、校外での学習機会を充実させることができた。</li> <li>全学級(少人数学級の増加分、特別支援学級を含む)に配置した電子黒板やタッチパネルディスプレイと教師用デジタル教科書を活用することによって、様々なコンテンツを利用した授業を行うことができ、主体的な学習体制を整備することができた。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ネットワークアセスメント結果を踏まえて、改善策を試しながら、校舎内全域でWi-Fi接続を安定して利用できるような環境整備を図る。</li> <li>教職員用の授業づくり用1人1台端末の配置準備を進める。</li> <li>教育情報セキュリティポリシーを見直し、GIGAスクール構想によるICT利活用の推進とともに、児童・教職員の情報セキュリティに対する意識向上を図る。</li> </ul>

5.令和7年度事業実績、評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校におけるICT機器の管理運用に必要な経費を計上</li> <li>1人1台タブレットの運用に必要な経費を計上</li> </ul>
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>積算内容を精査</li> <li>教育系サーバーリース料契約額確定に伴い積算内容を精査</li> </ul>
市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>積算内容を精査</li> </ul>

事業シート(令和8年度予算)

事業名	92230 小学校図書教育推進事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	教育基本振興計画、過疎地域持続的発展計画		
	款	9	教育費		ポイント										
	項	2	小学校費		政策分野	2	こども・教育・交流			市長公約					
	目	2	教育振興費		施策分野	(2)	学校教育								
担当課	教育委員会事務局	学校教育課	内線	2358											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>全小学校の図書館の蔵書について文部科学省基準を上回る図書内容を整備し、分野別でも基準を満たす。</li> <li>読書に親しめる環境づくりを進めるとともに、学習・情報センターとして活用できる学校図書館にする。</li> <li>新たに子どもの居場所づくりの場所としての空間づくりを進める。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校図書館の管理・運営を行う。</li> <li>分野ごとにバランスの取れた選書による図書購入を行う。</li> </ul>
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R6			R7		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		53,100	52,781	56,880			
特定財源	国費( )						
	県費( )						
	その他( )						
一般財源		53,100	52,781	56,880			
新規・拡充	主な事業内容						
	図書館指導員の配置	38,400	38,372	42,680			
	図書購入費	13,000	12,997	13,000			
	学校図書館への新聞の設置	1,200	915	1,200			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和8年度予算編成(Action) (千円)

R8予算		実施計画額		53,900
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
56,003	53,160	53,660	△ 3,220	
56,003	53,160	53,660	△ 3,220	
査定額	説明			
39,600				
13,000				
1,060				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和6年度事業実績・評価等(Check) R7.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館指導員の全校配置 19校</li> <li>小学校図書購入冊数 6,218冊</li> <li>全校図書館への新聞配備 19校</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習センター・情報センターとして学校図書館が機能していくように、教科との連携を図り、児童により必要な蔵書の充実を図った。</li> <li>全校に新聞を配備することによって、調べ学習の環境を充実させることができた。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習、情報センターとして活用できる学校図書館となるよう、また、子どもの居場所づくりのために学校図書館の効果的な活用についての研修、実践を強化する。</li> <li>文部科学省の新聞の配備基準に基づき、小学校2紙、中学校3紙を図書館に継続配備する。</li> <li>コーナーの設置や授業での図書活用を促し、社会の変化に関心をもつ子どもの育成を目指す。</li> </ul>

5.令和7年度事業実績・評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・小学校における図書館の運営に必要な経費を計上
---------------------	-------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・積算内容を精査

事業シート(令和8年度予算)

事業名	92240 小学校要保護及び準要保護等児童援助事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	1	こどもが健やかに育つための支援、若者が活躍できる環境づくり	根拠計画	教育基本振興計画、過疎地域持続的発展計画		
	款	9	教育費		ポイント	(1)	健やかに育つ環境づくり									
	項	2	小学校費		政策分野	2	こども・教育・交流									
	目	2	教育振興費		施策分野	(2)	学校教育									
担当課	教育委員会事務局	学校教育課	内線	2358				市長公約								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済的理由のため就学困難と認められる児童の就学を援助する。</li> <li>・特別支援学級等に在籍する児童の就学を奨励する。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の収入等に応じて、必要な学用品費等や学校給食費の全部または一部を援助する。</li> </ul>
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標

2.事業の実施結果等(Do)

		R6			R7		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		21,000	17,100	22,000			
特定財源	国費 ( 特別支援教育就学奨励費 1/2、要保護児童就学援助費 1/2 )	3,500	2,109	3,500			
	県費 ( )						
	その他( )						
一般財源		17,500	14,991	18,500			
新規・拡充	主な事業内容						
	要保護及び準要保護児童就学援助費	7,000	6,349	8,000			
	要保護及び準要保護児童給食費	7,000	6,411	7,000			
	特別支援教育就学奨励費	7,000	4,340	7,000			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和8年度予算編成(Action)

		R8予算		実施計画額	
		要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
		29,000	18,000	12,000	△ 10,000
		5,000	3,000	2,000	△ 1,500
		24,000	15,000	10,000	△ 8,500
査定額	説明				
8,000					
0					
4,000					

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	要保護・準要保護等児童援助費 333人
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の学用品の一部や給食費などを実費支給し、児童扶養手当など他部署による支援と併せて安心して就学できる環境を整えることができた。</li> <li>・新入学用品費等について入学前支給を実施し、対象児童の保護者の負担軽減を図ることができた。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善</li> <li><input type="checkbox"/> 拡大</li> <li><input type="checkbox"/> 縮小</li> <li><input type="checkbox"/> 廃止検討</li> <li><input type="checkbox"/> R6完了</li> <li><input type="checkbox"/> R7完了予定</li> </ul> <p>・国の制度改正の動向等を把握しながら、学用品等の必要な援助、学校給食費の全部または一部を支給する。</p>

5.令和7年度事業実績、評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 維持・改善</li> <li><input type="checkbox"/> 拡大</li> <li><input type="checkbox"/> 縮小</li> <li><input type="checkbox"/> 廃止検討</li> <li><input type="checkbox"/> R7完了</li> <li><input type="checkbox"/> R8完了予定</li> </ul>

担当課 予算要求 ポイント	
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積算内容を精査</li> <li>・小学校給食無償化に伴い、給食費に係る給付の積算内容を精査</li> </ul>
市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積算内容を精査</li> <li>・国算定基準額の見直しにより積算内容を精査</li> </ul>

事業シート(令和8年度予算)

事業名	92260 小学校郷土教育推進事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	1	子どもが健やかに育つための支援、若者が活躍できる環境づくり	根拠計画	教育基本振興計画、過疎地域持続的発展計画	
	款	9	教育費		ポイント	(2)	夢や希望が持てる環境づくり								
	項	2	小学校費		政策分野	2	子ども・教育・交流								
	目	2	教育振興費		施策分野	(2)	学校教育								
担当課	教育委員会事務局	学校教育課	内線	2358					市長公約	やさしく！～周りを敬うやさしさ～ 子どもたちが充実した将来を迎えることができるための教育環境を整えます					

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学校、地域の特色を活かした学校経営を行い、豊かな教育環境を創出する。</li> <li>地域の方々から、総合的な学習の時間・クラブ活動・進路講話・外国語指導等を受け、豊かな学習活動を展開しながら、様々な方面の事柄に興味関心を持たせ、生きる力の礎を築く。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学校における特色ある学校経営を支援する。</li> <li>各学校で、その地域の特色ある講師や、児童が興味関心をもてる講師を選定し、様々な学習活動を行う。</li> </ul>
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標
今住んでいる地域の行事に参加している児童の割合	90.5%		
将来の夢や目標を持っている児童の割合	84.4%		
「学校・家庭・地域が連携した児童生徒の教育環境が整っている」と感じている市民の割合	63.7%		

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R6			R7		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		9,240	8,604	8,980			
特定財源	国費( )						
	県費( )						
	その他( )						
一般財源		9,240	8,604	8,980			
新規・拡充	主な事業内容						
	特色ある学校経営の推進	5,000	5,000	5,000			
	外部講師活用事業	1,900	1,774	1,900			
	社会科副読本「飛驒の高山」	1,400	1,019	1,120			
	社会科副読本「飛驒の高山」別冊	300	290	320			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和8年度予算編成(Action) (千円)

R8予算		実施計画額		9,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
9,210	9,003	9,003	23	
9,210	9,003	9,003	23	
査定額	説明			
4,800				
1,900				
1,330				
370				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校3年生用の副読本「わたしたちのまち高山」を発行</li> <li>社会科副読本「飛驒の高山」を発行</li> <li>外部講師 19校で延べ85名の講師を活用 887時間</li> <li>特色ある学校経営推進事業 均等事業19校・認定事業9校</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校3年生用社会科副読本「わたしたちのまち高山」の内容を適宜見直し、発行した。社会科学習の入口である3年生の学習に活用することができた。</li> <li>社会科副読本「飛驒の高山」についても併せて発行し、地域の産業や歴史の学習に活用することができた。</li> <li>各校に交付された補助金を利用して、特色ある教育活動を展開し、郷土を知り、郷土に愛着を感じる活動を行うことで、主体的で深い学びを推進する機会を設けることができた。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会科副読本は「飛驒の高山」と3年生用別冊「わたしたちのまち高山」の内容を適宜見直し、より学習に生かせるものとなるよう小学校社会科部会と連携しながら改訂を進めていく。</li> <li>特色ある学校経営推進事業により、各校が地域の特色等も踏まえて学校独自の活動を推進するために本事業は必要であり、今後も継続したい。</li> </ul>

5.令和7年度事業実績、評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 維持・改善</li> <li><input type="checkbox"/> 拡大</li> <li><input type="checkbox"/> 縮小</li> <li><input type="checkbox"/> 廃止検討</li> <li><input type="checkbox"/> R6完了</li> <li><input type="checkbox"/> R7完了予定</li> </ul>

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域を知り地域を愛する教育に必要な経費を計上</li> </ul>
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>積算内容を精査</li> </ul>
市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>財務部査定のとおり</li> </ul>

事業シート(令和8年度予算)

事業名	93200 中学校運営事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	1	子どもが健やかに育つための支援、若者が活躍できる環境づくり	根拠計画	教育基本振興計画、過疎地域持続的発展計画		
	款	9	教育費		ポイント	(2)	夢や希望が持てる環境づくり									
	項	3	中学校費		政策分野	2	子ども・教育・交流									
	目	2	教育振興費		施策分野	(2)	学校教育									
担当課	教育委員会事務局	学校教育課	内線	2358				分業別				市長公約				

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・学校運営に関する費用を負担することにより義務教育の充実を図る。	概要	・学校運営に関する費用を負担する。 ・あたたかな人間関係づくりのための心理検査を実施し学級経営を支援する。 ・生徒の健康診断を実施する。
----	----------------------------------	----	--

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う児童生徒の割合	91.2%		
教職員1人あたりの時間外勤務	31.7h		

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R6			R7		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		29,378	26,430	68,929			
特定財源	国費 ( 情報機器整備事業費 1/2、へき地生徒援助費 1/3 )	166	314	152			
	県費 ( 学校基本調査事務費 10/10 )		4				
	その他( 飛騨高山ふるさと基金繰入金 )			19,000			
一般財源		29,212	26,112	49,777			
新規・拡充	主な事業内容						
	人間関係づくりのための心理検査の実施	1,440	1,019	1,400			
○ 1	校務支援システムの運用及び更新	2,780	2,772	2,540			
	中学校運営事業	25,158	22,639	25,489			
	教科書改訂に伴う指導書購入			39,500			
	スクールサポートスタッフ・学習指導員の配置						
	嘱託医報酬(内科医、歯科医、薬剤師)						
○ 2	日本語学習指導員の配置						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和8年度予算編成(Action)

R8予算		実施計画額		35,400
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
37,988	37,663	37,163	△ 31,766	
	219	219	67	
			△ 19,000	
37,988	37,444	36,944	△ 12,833	
査定額	説明			
1,340				
3,730				
25,533				
- 人件費に計上				
6,560	93100 中学校管理事業費から移行			
- 人件費に計上				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和6年度事業実績・評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・あたたかな人間関係づくりのための心理検査の実施(中1、2年生) 1,441人 ・生徒健康診断 2,262人 ・校務支援システムの運用
評価等	・中1、2年生に対する心理検査を実施。各校で結果を分析し生徒の変化を気づくことで、早めの対策を講じることができた。 ・校務支援システムを活用することにより、出席簿、成績、出退勤把握の業務など、事務処理が統一化され、作業に係る負担を軽減し、学校職員の時間外勤務の減少にもつながっている。
次年度以降の考え方(担当課)	・心理検査のより有効的な活用を検討するとともに、効果を検証していく。 ・本事業費は、児童が充実した学校生活を送るための学校運営に必要な事務経費であり、今後も効率的な運営を行い、児童の心身の健全育成のため継続して事業を実施する。 ・校務支援システムは学校職員の事務処理の統一化と業務の効率化を図ることができると、今後も継続して活用する。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R6完了
- R7完了予定

5.令和7年度事業実績・評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R7完了
- R8完了予定

担当課	・中学校教育の運営に必要な経費を計上
予算要求ポイント	・スクールサポートスタッフ・学習指導員の配置の拡充に必要な経費を計上(人件費に計上)

財務部査定の方	・積算内容を精査
市長査定の方	・積算内容を精査

## 主要事業個票(令和8年度予算)

事業名	93200 中学校運営事業費	区分	<input type="checkbox"/> R7新規	<input type="checkbox"/> R8新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	学校教育課
			<input checked="" type="checkbox"/> R7拡充	<input type="checkbox"/> R8拡充		款	9	教育費		
枝番・内容	1 校務支援システムの更新	<input type="checkbox"/> その他重要事業	<input type="checkbox"/>	項		3	中学校費	内線	2358	
		<input type="checkbox"/>		目		2	教育振興費	作成年月	R8.2	

## 事業の目的・概要(Plan)

目的	令和2年度に導入した県下統一の統合型校務支援システムについて、次期システムへ更新する。	概要	県が中心となりR8年度中に次期校務支援システムへ更新する。
----	---	----	-------------------------------

## 【参考】R6決算(Do・Check) R7.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

## 【参考】R7当初予算(Action) R7.3時点 (千円)

予算額	当初	
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

## R7決算(Do・Check) R8.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

## R8当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	740
主な経費		
	委託料	
対前年度増減額(当初予算)		740

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
[スケジュール]	

事業実績、評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R7完了 <input type="checkbox"/> R8完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現行システムからのデータ抽出を行うとともに、新規システムを構築し、移行・設定等の業務を行う</li> </ul>
[スケジュール]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R8.4～ データ抽出、初期構築</li> <li>・R8.8 データ移行、初期構築完了</li> <li>・R8.9 次期システム運用開始</li> </ul>

### 主要事業個票(令和8年度予算)

事業名	93200 中学校運営事業費	区分	<input type="checkbox"/> R7新規	<input checked="" type="checkbox"/> R8新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	学校教育課
枝番・内容	2 日本語学習指導員の配置		<input type="checkbox"/> R7拡充	<input type="checkbox"/> R8拡充		款	9	教育費		
			<input type="checkbox"/> その他重要事業		項	3	中学校費	内線	2358	
			<input type="checkbox"/>		目	2	教育振興費	作成年月	R8.2	

### 事業の目的・概要(Plan)

目的	・日本語指導が必要な児童生徒が、日本の学校生活に必要な日本語や知識を身に付けることができるように学習指導員を配置し、日本語を学習する機会を確保するとともに、支援体制を強化する。	概要	・外国とつながる児童生徒に対して、日本語を支援する学習指導員を配置する。
----	--	----	--------------------------------------

#### [参考] R6決算(Do・Check) R7.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

#### [参考] R7当初予算(Action) R7.3時点 (千円)

予算額	当初	
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

#### R7決算(Do・Check) R8.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

#### R8当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	
主な経費	・学習指導員の人件費	
対前年度増減額(当初予算)		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定

事業内容、スケジュール	

事業実績、評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R7完了 <input type="checkbox"/> R8完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] ・日本語指導が必要な児童生徒に対して、日本語の支援を行う学習指導員を配置する。 ・日本語指導が必要な児童生徒が在籍する学校を拠点校とし、在籍学級からの取り出し指導、在籍学級への入り込み指導等を行う。また、拠点校での支援に加えて、他校に在籍する児童生徒への支援を行う。(他校から拠点校への通学、他校への巡回指導)	
[スケジュール] R8.4～中山中に配置	

事業シート(令和8年度予算)

事業名	93210 中学校心の教育推進事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	1	子どもが健やかに育つための支援、若者が活躍できる環境づくり	根拠計画	教育基本振興計画、過疎地域持続的発展計画		
	款	9	教育費		ポイント	(1)	健やかに育つ環境づくり									
	項	3	中学校費		政策分野	2	子ども・教育・交流									
	目	2	教育振興費		施策分野	(2)	学校教育									
担当課	教育委員会事務局	学校教育課	内線	2358				市長公約								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	個々の内面に寄り添いながら、一人ひとりが持つ良さや可能性が十分発揮できるようにする。	概要	・保健相談員、特別支援員を配置し、生徒の学校生活の支援を行う。
----	--	----	---------------------------------

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R6			R7		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
特定財源	国費( )						
	県費( )						
	その他( )						
一般財源							
新規・拡充	主な事業内容						
	保健相談員・特別支援員の配置						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和8年度予算編成(Action)

R8予算		実施計画額		0
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
査定額	説明			
	- 人件費に計上			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和6年度事業実績・評価等(Check) R7.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健相談員(中学校) 21人 配置</li> <li>・特別支援員(中学校) 22人 配置</li> <li>・全校に校内支援センターを設置</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習や集団生活に「困り感」をかかえる生徒に寄り添いながら、教職員との連携体制を整え、適した支援を行うことができた。</li> <li>・特別支援学級の減少で、特別支援員の人数は減少したが、不登校生徒への対応や特別な配慮が必要な生徒に対応する保健相談員を増加させ、支援を充実させることができた。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数名いる特別支援学級には支援員を配置。</li> <li>・発達障がいや不登校傾向の生徒への対応、日本語が困難な生徒への対応など、手厚い支援ができるよう継続して一人ひとりに寄り添う事業を実施する。</li> <li>・相談員の資質・能力の向上や不登校対策(校内支援センターの活用)における教育相談の充実を図る。</li> <li>・相談員の配置に応じた、適正な勤務管理、勤務態度、支援等を指導する。</li> </ul>

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R6完了
- R7完了予定

5.令和7年度事業実績・評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 維持・改善</li> <li><input type="checkbox"/> 拡大</li> <li><input type="checkbox"/> 縮小</li> <li><input type="checkbox"/> 廃止検討</li> <li><input type="checkbox"/> R7完了</li> <li><input type="checkbox"/> R8完了予定</li> </ul>

担当課 予算要求 ポイント	・保健相談員、特別支援員の配置に必要な経費を計上(人件費に計上)
---------------------	----------------------------------

財務部 査定の 考え方	
市長査定 の考え方	

事業シート(令和8年度予算)

事業名	93220 中学校教育機器整備事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	1	子どもが健やかに育つための支援、若者が活躍できる環境づくり	根拠計画	教育基本振興計画、過疎地域持続的発展計画	
	款	9	教育費		ポイント	(2)	夢や希望が持てる環境づくり								
	項	3	中学校費		政策分野	2	子ども・教育・交流								
	目	2	教育振興費		施策分野	(2)	学校教育								
担当課	教育委員会事務局	学校教育課	内線	2358					市長公約	やさしく！～周りを敬うやさしさ～ 子どもたちが充実した将来を迎えることができるための教育環境を整えます					

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の学習意欲の向上と学力の定着を図る。</li> <li>情報教育により情報化社会に対応した情報通信機器を活用できる力の習得や規範意識の向上を図る。</li> <li>中学校教育機器の充実</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報通信関連機器などの教具・教材を整備する。</li> <li>学校内で使用する教材備品の購入</li> </ul>
----	---	----	---

総合計画等 主な指標			
R6実績	R7実績	R11目標	
T国語の授業の内容はよく分かりますか」で分かるど回答した児童生徒の割合	83.8%		

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R6			R7		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		129,777	127,922	132,240			
特定財源	国費( )						
	県費( )						
	その他( 飛騨高山ふるさと基金繰入金、夢・まちづくり基金繰入金 )	50,000	55,000	28,500			
一般財源		79,777	72,922	103,740			
新規・拡充	主な事業内容						
	中学校教育機器整備事業費	32,494	32,659	42,900			
	教育系情報ネットワークのセキュリティ強化	10,973	10,923	14,720			
	電子黒板の配置	24,550	24,532	16,540			
	教材費	20,700	20,444	16,000			
	1人1台タブレットの活用、貸出用ルーター通信使用料等	39,060	37,331	39,970			
	プログラミング教材購入	2,000	2,033	2,110			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和8年度予算編成(Action)

R8予算		実施計画額		177,500
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
151,944	151,100	151,100	18,860	
		51,000	22,500	
151,944	151,100	100,100	△ 3,640	
査定額	説明			
50,620				
15,890				
7,700				
15,500				
59,300				
2,090				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>GIGAスクール構想により整備・導入した校内LAN、電源キャビネット、1人1台端末の運用</li> <li>GIGAスクール構想によるモバイルルータの運用 全300台</li> <li>普通教室・少人数教室・理科室への電子黒板を用いた教師用デジタル教科書の運用</li> <li>タッチパネルディスプレイの導入(12台)</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>1人1台端末を利用して様々な教育活動に工夫して取り組むことができた。</li> <li>抽出校にてネットワークアセスメントを実施し、改善策の検討を進めた。</li> <li>不登校の児童に対してモバイルルータの貸出を実施し、校外での学習機会を充実させることができた。</li> <li>全学級(少人数学級の増加分、特別支援学級を含む)に配置した電子黒板やタッチパネルディスプレイと教師用デジタル教科書を活用することによって、様々なコンテンツを利用した授業を行うことができた。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ネットワークアセスメント結果を踏まえて、改善策を試しながら、校舎内全域でWi-Fi接続を安定して利用できるような環境整備を図る。</li> <li>教職員用の授業づくり用1人1台端末の配置準備を進める。</li> <li>教育情報セキュリティポリシーを見直し、GIGAスクール構想によるICT利活用の推進とともに、児童・教職員の情報セキュリティに対する意識向上を図る。</li> </ul>

5.令和7年度事業実績、評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 維持・改善</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 拡大</li> <li><input type="checkbox"/> 縮小</li> <li><input type="checkbox"/> 廃止検討</li> <li><input type="checkbox"/> R6完了</li> <li><input type="checkbox"/> R7完了予定</li> </ul>

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学校におけるICT機器の管理運用に必要な経費を計上</li> <li>1人1台タブレットの運用に必要な経費を計上</li> </ul>
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>積算内容を精査</li> <li>教育系サーバーリース料契約額確定に伴い積算内容を精査</li> </ul>
市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>積算内容を精査</li> </ul>

事業シート(令和8年度予算)

事業名	93230 中学校図書教育推進事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	教育基本振興計画、過疎地域持続的発展計画		
	款	9	教育費		ポイント										
	項	3	中学校費		政策分野	2	こども・教育・交流								
	目	2	教育振興費		施策分野	(2)	学校教育								
担当課	教育委員会事務局	学校教育課	内線	2358				市長公約							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全中学校の図書館の蔵書について文部科学省基準を上回る図書内容を整備し、分野別でも基準を満たす。</li> <li>・読書に親しめる環境づくりを進めるとともに、学習・情報センターとして活用できる学校図書館にする。</li> <li>・新たに子どもの居場所づくりの場所としての空間づくりを進める。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館の管理・運営を行う。</li> <li>・分野ごとにバランスの取れた選書による図書購入を行う。</li> </ul>
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R6			R7		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		36,860	36,539	39,050			
特定財源	国費( )						
	県費( )						
	その他( )						
一般財源		36,860	36,539	39,050			
新規・拡充	主な事業内容						
	図書館指導員の配置	22,240	22,216	24,750			
	図書購入費	13,100	13,099	13,100			
	学校図書館への新聞の設置	1,200	911	1,200			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和8年度予算編成(Action) (千円)

R8予算		実施計画額		39,100
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
42,166	41,740	42,240	3,190	
42,166	41,740	42,240	3,190	
査定額	説明			
27,940				
13,100				
1,200				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館指導員の全校配置 12校</li> <li>・中学校図書購入冊数 5,985冊</li> <li>・全校図書館への新聞配備 12校</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習センター・情報センターとして学校図書館が機能していくように、教科との連携を図り、児童により必要な蔵書の充実を図った。</li> <li>・全校に新聞を配備することによって、調べ学習の環境を充実させることができた。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習、情報センターとして活用できる学校図書館となるよう、また、子どもの居場所づくりのために学校図書館の効果的な活用についての研修、実践を強化する。</li> <li>・文部科学省の新聞の配備基準に基づき、小学校2紙、中学校3紙を図書館に継続配備する。</li> <li>・コーナーの設置や授業での図書活用を促し、社会の変化に関心をもつ子どもの育成を目指す。</li> </ul>

5.令和7年度事業実績、評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定 <input type="checkbox"/> R8完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・中学校における図書館の運営に必要な経費を計上
---------------------	-------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・積算内容を精査

事業シート(令和8年度予算)

事業名	93240 中学校要保護及び準要保護等生徒援助事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	1	子どもが健やかに育つための支援、若者が活躍できる環境づくり	根拠計画	教育基本振興計画、過疎地域持続的発展計画		
	款	9	教育費		ポイント	(1)	健やかに育つ環境づくり									
	項	3	中学校費		政策分野	2	子ども・教育・交流			市長公約						
	目	2	教育振興費		施策分野	(2)	学校教育									
担当課	教育委員会事務局	学校教育課	内線	2358												

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済的理由のため就学困難と認められる生徒の就学を援助する。</li> <li>・特別支援学級等に在籍する生徒の就学を奨励する。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の収入等に応じて、必要な学用品費等や学校給食費の全部または一部を援助する。</li> </ul>
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標

2.事業の実施結果等(Do)

		R6			R7		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		26,000	18,644	27,000			
特定財源	国費(特別支援教育就学奨励費 1/2)	3,000	1,543	3,000			
	県費( )						
	その他( )						
一般財源		23,000	17,101	24,000			
新規・拡充	主な事業内容						
	要保護及び準要保護生徒就学援助費	14,000	10,463	15,000			
	要保護及び準要保護生徒給食費	6,000	5,030	6,000			
	特別支援教育就学奨励費	6,000	3,151	6,000			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和8年度予算編成(Action) (千円)

R8予算		実施計画額		19,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
32,000	32,000	19,000	△ 8,000	
4,000	4,000	2,000	△ 1,000	
28,000	28,000	17,000	△ 7,000	
査定額	説明			
15,000				
0				
4,000				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	要保護・準要保護等生徒援助費 192人
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の学用品の一部や給食費などを実費支給し、児童扶養手当など他部署による支援と併せて安心して就学できる環境を整えることができた。</li> <li>・新入学用品費等について入学前支給を実施し、対象生徒の保護者の負担軽減を図ることができた。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善</li> <li><input type="checkbox"/> 拡大</li> <li><input type="checkbox"/> 縮小</li> <li><input type="checkbox"/> 廃止検討</li> <li><input type="checkbox"/> R6完了</li> <li><input type="checkbox"/> R7完了予定</li> </ul> <p>・国の制度改正の動向等を把握しながら、学用品等の必要な援助、学校給食費の全部または一部を支給する。</p>

5.令和7年度事業実績、評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 維持・改善</li> <li><input type="checkbox"/> 拡大</li> <li><input type="checkbox"/> 縮小</li> <li><input type="checkbox"/> 廃止検討</li> <li><input type="checkbox"/> R7完了</li> <li><input type="checkbox"/> R8完了予定</li> </ul>

担当課 予算要求 ポイント	
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積算内容を精査</li> <li>・国算定基準額の見直しにより積算内容を精査</li> <li>・中学校給食無償化に伴い、給食費に係る給付の積算内容を精査</li> </ul>

事業シート(令和8年度予算)

事業名	93260 中学校郷土教育推進事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	1	子どもが健やかに育つための支援、若者が活躍できる環境づくり	根拠計画	教育基本振興計画、過疎地域持続的発展計画		
	款	9	教育費		ポイント	(2)	夢や希望が持てる環境づくり		市長公約	やさしく！～周りを敬うやさしさ～ 子どもたちが充実した将来を迎えることができるための教育環境を整えます						
	項	3	中学校費		政策分野	2	子ども・教育・交流									
	目	2	教育振興費		施策分野	(2)	学校教育									
担当課	教育委員会事務局	学校教育課	内線	2358												

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学校、地域の特色を活かした学校経営を行い、豊かな教育環境を創出する。</li> <li>地域の方々から、総合的な学習の時間・クラブ活動・進路講話・外国語指導等を受け、豊かな学習活動を展開しながら、様々な方面の事柄に興味関心を持たせ、生きる力の礎を築く。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学校における特色ある学校経営を支援する。</li> <li>各学校で、その地域の特色ある講師や、生徒が興味関心をもてる講師を選定し、様々な学習活動を行う。</li> </ul>
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標
今住んでいる地域の行事に参加している生徒の割合	84.8%		
将来の夢や目標を持っている生徒の割合	72.2%		
「学校・家庭・地域が連携した児童生徒の教育環境が整っている」と感じている市民の割合	63.7%		

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R6			R7		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		5,390	5,078	5,370			
特定財源	国費( )						
	県費( )						
	その他( )						
一般財源		5,390	5,078	5,370			
新規・拡充	主な事業内容						
	特色ある学校経営の推進	3,200	3,200	3,200			
	外部講師活用事業	1,800	1,584	1,800			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和8年度予算編成(Action)

R8予算		実施計画額		5,400
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
5,289	5,289	5,289	△ 81	
5,289	5,289	5,289	△ 81	
査定額	説明			
3,200				
1,700				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和6年度事業実績・評価等(Check) R7.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部講師 12校で延べ57名の講師を活用 792時間</li> <li>特色ある学校経営推進事業 均等事業12校・認定事業9校</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>各校に交付された補助金を利用して、特色ある教育活動を展開し、郷土を知り、郷土に愛着を感じる活動を行うことで、主体的で深い学びを推進する機会を設けることができた。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>特色ある教育活動は、生徒に生きる力を育むとともに郷土教育の推進や地域との連携に成果をあげており、なくてはならない貴重な事業である。各校で特色ある活動を企画したり、地域の活性化につなげたりして工夫し、一層の推進を図る。</li> </ul>

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R6完了
- R7完了予定

5.令和7年度事業実績・評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R7完了
- R8完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域を知り地域を愛する教育に必要な経費を計上</li> </ul>
財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>要求どおり</li> </ul>
市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>財務部査定のとおりに</li> </ul>

事業シート(令和8年度予算)

事業名	93290 中学校部活動支援事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	1	子どもが健やかに育つための支援、若者が活躍できる環境づくり	根拠計画	教育基本振興計画、過疎地域持続的発展計画		
	款	9	教育費		ポイント	(2)	夢や希望が持てる環境づくり									
	項	3	中学校費		政策分野	2	子ども・教育・交流									
	目	2	教育振興費		施策分野	(2)	学校教育									
担当課	教育委員会事務局	学校教育課	内線	2358				市長公約								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・部活動大会派遣等に要する経費の助成により、生徒の心身の健全育成を図る。	概要	・部活動やクラブにおいて各種大会へ派遣される生徒、教員等の経費の1/2を補助する。
----	--------------------------------------	----	---

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R6			R7		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		14,280	10,304	23,000			
特定財源	国費(地域スポーツクラブ体制整備事業費 10/10)	3,580	2,965	10,600			
	県費(地域クラブ体制整備事業費2/3)						
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)						
一般財源		10,700	7,339	12,400			
新規・拡充	主な事業内容						
	中学校部活動に対する支援	1,700	1,605	1,650			
	各種大会派遣に対する支援	9,000	5,476	8,000			
○ 1	部活動の地域クラブ移行に対する支援	3,580	3,223	13,350			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和8年度予算編成(Action)

R8予算		実施計画額		29,300
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
35,962	29,340	29,340	6,340	
19,729			△ 10,600	
	10,220	10,220	10,220	
		7,000	7,000	
16,233	19,120	12,120	△ 280	
査定額	説明			
0				
8,000				
21,340				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動指導員配置促進事業のべ23名の部活動指導員を8校の中学校に配置した。</li> <li>各種大会派遣補助金 県大会出場 68件 東海大会出場 21件 全国大会出場 12件</li> <li>部活動の地域移行 地域スポーツ団体指導者に対する支援(6種目・12団体・23名)</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動指導員配置によってより専門的な指導が可能となり、部活動指導の充実が図れた。また、顧問の時間外勤務の負担軽減につながった。</li> <li>部活動に対して、一律15,000円の公平かつ効果的な支援ができた。</li> <li>地域移行している6種目、23名の指導者に支援ができた。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域クラブ活動(又は地域クラブ以外のクラブ)に対する大会派遣の支援を行う。</li> <li>国の実証事業を活用して休日の地域クラブ活動を支援していく。</li> </ul>

5.令和7年度事業実績、評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学校部活動の支援に必要な経費を計上</li> <li>地域クラブ活動の支援に必要な経費を計上</li> </ul>
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>積算内容を精査</li> <li>中学校部活動補助金を廃止し、地域クラブ等活動補助金を創設</li> <li>地域クラブ送迎バス、地域クラブ指導者謝礼については積算内容を精査</li> </ul>
市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>積算内容を精査</li> </ul>

### 主要事業個票(令和8年度予算)

事業名	93290 中学校部活動支援事業費	区分	<input type="checkbox"/> R7新規	<input type="checkbox"/> R8新規	会計	1	一般会計	担当課	学校教育課
枝番・内容	1 部活動の地域移行に対する支援		<input type="checkbox"/> R7拡充	<input checked="" type="checkbox"/> R8拡充		款	9		
			<input type="checkbox"/> その他重要事業		項	3	中学校費	内線	2358
			<input type="checkbox"/>		目	2	教育振興費	作成年月	R8.2

### 事業の目的・概要(Plan)

目的	・部活動の地域移行により教職員の負担軽減を図るとともに、今後も中学生がクラブ活動を継続実施できる環境を整える。	概要	・地域クラブ活動の支援に関する補助を行う。 ・中学校部活動から移行した地域クラブ活動に従事する指導者に対して謝金を支払う。 ・支所地域の中学生が市街地等でのクラブ活動場所に移動するためのバスを運行する。
----	---	----	---

#### [参考] R6決算(Do・Check) R7.8時点 (千円)

予算額	当初	3,580
	繰越	
	補正等	
	最終	3,580
決算額		3,223
対前年度増減額(決算)		3,223

#### [参考] R7当初予算(Action) R7.3時点 (千円)

予算額	当初	13,350
主な経費	・報償金	
	・需用費	
	・人件費(バス運転手4名)	
対前年度増減額(当初予算)		9,770

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

#### R7決算(Do・Check) R8.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

#### R8当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	21,340
主な経費	・報償金	
	・需用費	
	・補助金	
	・人件費(バス運転手4名)	
対前年度増減額(当初予算)		7,990

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
<p>[事業実績]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動の地域移行</li> <li>・地域スポーツ団体指導者に対する支援(6種目・12団体・23名)</li> </ul> <p>[評価等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動の地域移行を進めることができた。</li> <li>・6種目の競技で部活動が地域移行し、23名の指導者に支援ができた。</li> </ul>	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域クラブ活動(又は地域クラブ以外のクラブ)に対する大会派遣の支援を行う。</li> <li>・国の実証事業を活用して休日の地域クラブ活動を支援していく。</li> </ul>
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定

事業内容、スケジュール	
<p>[事業内容]</p> <p>中学校部活動から移行した地域クラブ活動に従事する指導者に対して謝金を支払う</p> <p>※原則休日の活動・最大26名を想定</p> <p>※R5年度中に以降済みのクラブを含む</p> <p>※国の実証事業を活用する(補助率10/10)</p> <p>支所地域の中学生がクラブ活動場所(主に市街地)まで移動するためのバス運行を試験的に実施する。</p> <p>運行日:毎週土曜日(午前・午後の往復2回)</p> <p>運行方法:支所地域を4ブロックに分割し、4台のバスを運行</p> <p>※①荘川・清見、②上宝・国府、③丹生川、④久々野、朝日、一之宮</p> <p>※バスはスクールバスを活用想定</p> <p>※財源は国庫委託金(10/10、ただし自己財源2割負担)</p>	
<p>[スケジュール]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校部活動から地域クラブ活動への移行推進</li> <li>・R7.4月～ 移行できる部活動から随時クラブへの移行を進める</li> <li>移行と同時に指導員への謝金支払を開始</li> </ul>	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域クラブバス</li> <li>・R7.2~4 バス運転手募集</li> <li>・R7.5 運行開始</li> </ul>
	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R7完了 <input type="checkbox"/> R8完了予定

事業実績、評価等	
<p>[事業実績]</p>	
<p>[評価等]</p>	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R7完了 <input type="checkbox"/> R8完了予定

事業内容、スケジュール	
<p>[事業内容]</p> <p>①地域クラブ活動等補助金</p> <p>各地域クラブ及び部活動の部員数×3千円(上限)</p> <p>(予算)</p> <p>2,000人×3千円=6,000千円</p> <p>②地域クラブ活動に従事する指導者への謝礼</p> <p>(予算)</p> <p>112名×130千円=14,560千円</p> <p>③部活動地域移行に係るバス運行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土曜日AM、4路線に加え、日曜日AM、4路線を増便する</li> </ul> <p>(予算)</p> <p>バス燃料費 780千円</p> <p>運転手人件費</p>	
<p>[スケジュール]</p> <p>①地域クラブ等活動補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・R8年4月 補助金説明会の実施</li> <li>・R8年5月～R9年1月 補助金の交付申請、補助金の交付、実績報告</li> </ul> <p>②指導者謝金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・R8年4月 地域クラブ申請と、指導者登録(各クラブ2名上限)</li> <li>・R8年5月～R9年2月 毎月の活動報告に基づき報酬を支払う</li> </ul> <p>③地域クラブバスの運行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・R8年4月～ 日曜日AMの運行を開始</li> </ul>	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R7完了 <input type="checkbox"/> R8完了予定